

STEAM'N Takayama Q&A (参加申し込み編)

Q1. プログラミングをやったことが無いですが、大丈夫ですか？

A1. 心配はありません。今回のプログラミングは、初心者向けのブロックを並べるだけでプログラムを作れるので、パズル感覚で楽しみながらプログラムが作れます。

Q2. ロボットのプログラムは難しくないのですか？

A2. 大丈夫です。ロボットを動かすための基本プログラムリストは配付しますので、それを入力してプログラミングするだけでロボットは動かせます。

競技としては、プログラムを工夫して、ロボットをコントロールしやすくするのが、腕の見せ所になってきます。

→ [プログラム例](#)

Q3. ロボットを作るのは難しくないですか？

A3. 心配はありません。支給される材料を組み立てるだけでロボットは作れます。

また、作り方の講習会もありますので、そこで相談しながら作ることができます。

説明書を読む力と、ネジを締める力があればできるはずです。少しずつ体験して自分の経験を増やしていけば、どんどん力はついてきます。

→ [ロボット写真](#)

Q4. 参加できるのはどんな人ですか？

A4. 中学生ならだれでも参加できます。何年生でもかまいません。

また、配付される機材を高山工業高校まで取りに来ることと大会に直接参加することができるとすれば、全国どこからでも参加できます。

Q5. 中学生だけで申し込みしていいのですか？

A5. 参加チームは中学生ですが、必ず保護者か学校の先生に申込責任者になってもらってください。

Q6. 1人で申し込みしたいのですが、だめですか？

A6. 申し訳ありませんが、2人1チームで参加する競技会です。

1人で取り組むより、2人で取り組んだ方がより早く、より良い方法が思いついたり、協力したりすることでできることも多くなると思います。

ものづくりの力を合わせることの大切さを伝えたいと私たちは思っています。

Q7. 費用はどのくらいかかるか心配です？

A7. 使用する基本的な機材はすべて無料で支給しますので、安心してください。

Q8. 7月29日の12:00から行われる説明会の内容が知りたいのですが……

A8. 説明会では競技で使うロボットの実演と大会の概要説明があります。

15分～20分程の内容です。質問も受け付けます。

説明会に参加しなくても大会申込みをすることができますが、説明会はわからないことを質問したり、プログラミングの理解をするためには絶好の機会だと思います。

午前中はオープンキャンパスもありますので、オープンキャンパスとあわせて、ぜひ参加してください。

Q9. プログラムを作る環境が心配です。

A9. 今回使用する Micro:bit(マイクロビット)はインターネット上でプログラムを作成し、それを Micro:bit 本体にダウンロード(転送)することで、作ったプログラムを動かすことができるようになります。自宅にインターネット環境があれば、プログラム作成とダウンロードができます。

また、タブレットやスマートフォン上でプログラムを作成し、無線通信で Micro:bit 本体にプログラムをダウンロードすることもできます。

もし、自宅にインターネット環境がない場合は、中学校の先生に相談して学校でプログラミングをさせてもらえるか尋ねてみてください。中学校でできないようでしたら、高山工業高校に連絡をしてもらえれば、高山工業高校でプログラミングをすることも可能です。丁寧に説明しますのでご安心ください。